



# ゆづりは

堺市立図書館だより

第16巻 第4号 (通巻61号)

発行日 令和4年3月10日

編集・発行 堺市立中央図書館

〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072 (244) 3811

FAX 072 (244) 3321

https://www.d-library.jp/SKI01/g0102/

libcontents/search/?gid=1025



## 西図書館2階

### “学びと交流の広場” を紹介します

今年1月、西区子育て・教育環境整備事業により、新しく“学びと交流の広場”がオープンしました。ここでは地域の子どもやその保護者が、読み聞かせや読書を楽しんだり学習に気軽に使える場所です。子どもたちはもちろんのこと、子育て中の保護者同士が交流し、情報交換もできます。

#### ほんのえき

子どもと保護者が読み聞かせや交流をしながら一緒に楽しめる広場です。



#### ラーニングスペース

読書や学習席に使えます。また、ここではワークショップやイベントを行うこともあります。

**※利用には申し込みが必要です**



#### イベントの様子

可動壁を活かしての人形劇やおはなし会、大阪府看護協会と連携して「まちの保健室」を実施しています



## 目次

- ・西図書館2階に「学びと交流の広場」がオープン …1
- ・この本で解決！「教科書に載っている作品を調べるには」 …2
- ・大活字本をご利用ください
- ・シリーズ堺の〇〇「堺かるた」 …3
- ・司書のイチ押し『あかねさす 新古今恋物語』 …4
- ・堺市立図書館電話番号一覧 …4

## ゆづりは とは…

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに  
ゆづりゆづりて  
譲り葉の  
ゆづりしあとに  
また新しく



この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

バックナンバーは  
こちらから➡



※新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を実施して開館しています。

※ご利用について、詳細は西図書館(☎271-2032)にお問い合わせ下さい。

(西図書館 担当)



# 教科書に載っている作品を調べるには



図書館に寄せられた様々な質問と回答を紹介します

小学校や中学校の国語の授業で学んだ作品を、大人になってからも一度読みたいと思ったことはありませんか？その作品がいつ、どの教科書に収録されていたかを調べるができる本に『教科書掲載作品 小・中学校編』（日外アソシエーツ、2008）があります。この本では、1949 年～2006 年発行の教科書に掲載された作品を、題名・著者のどちらからでも調べることができます。

同じシリーズで、高校の国語教科書に掲載された文学作品を調べるができる『教科書掲載作品 13000』（日外アソシエーツ、2008）もあります。また、国語の教科書だけではなく、音楽の教科書に掲載された楽曲名を調べるができる『音楽教科書掲載作品 10000』（日外アソシエーツ、2011）もあります。こちらは 1949～2009 年発行の小中学校・高校の教科書に掲載された唱歌や器楽曲などを調べることができます。

これらの資料は館内での閲覧のみになります。最寄りの図書館に所蔵がない場合など、ご覧になりたいときは窓口までお尋ねください。

また、各区域図書館では現在市内小中学校で使用されている教科書も閲覧・貸出できます。こちらは取り寄せて貸出できるものもありますので、併せてご利用ください。



(中図書館レファレンス担当)

## 大活字本、いかがですか？

最初に、大活字本にまつわるエピソードを 1 つ紹介します。『図書館に通う - 当世「公立無料貸本屋」事情 -』（みずす書房刊 2013.5）の著者である宮田昇氏の姉は、特別養護老人ホームに入所することになりました。長らくひとり暮らしを続けていたので、集団生活にはなじまず、また施設の習字、生け花、カラオケなどの活動は、どれも彼女の趣味ではありませんでした。

そんな姉にかつて好きだった読書を薦めてみようと考えましたが、この十年、白内障も患って読書から遠のいている人が、どうしたらまた本を読むだろうかと悩みます。そして選んだのが大活字本でした。はじめて大活字本に出会った姉は、これだったら読めると喜び、さっそく拡大鏡をかざしながら、繰り返し熱心に読み始めたそうです。宮田氏は大活字本について「街の図書館の書架での出会いがあったからこそで、知らなければ彼女に読書のチャンスをあたえなかったろう」と綴っています(同

書より)。

大活字本とは、細かな字が読みにくい方にもわかりやすいよう文字を大きくし、行間にゆとりをもたせた本のことです。

一般的な本の活字の大きさ (11 ポイント)



大活字本 (21 ポイント)

図書館は明治から現代までの小説やエッセイを中心に、辞典類やパソコン・スマホの解説書など、生活に役立つ大活字本も所蔵しています。

「小さい文字が読めない」が「読書のチャンス」に変わるかもしれません。読書をあきらめている方、大活字本をぜひ一度ご利用になってはいかがでしょうか。

(南図書館美術多分館 担当)

シリーズ **堺**  
の〇〇

# 堺のかるた



堺市立図書館では、かるたも収集しています。いろはかるたや絵本をテーマにしたかるたなど、様々なものがありますが、特に地域の歴史や風土をテーマとした郷土かるたと呼ばれるものは現在35種を所蔵しており、このうち堺に関連するかるたは19種あります。そのなかでも代表的なかるたが、昭和51年発行の『堺かるた』です。小学生のころに、学校や家で遊んだ経験がある方もいるのではないのでしょうか。

『堺かるた』発行のきっかけは、はとぶえ会が編集した『むかしの堺』でした。こちらは児童文化雑誌『はとぶえ』で連載していた記事をまとめ、子どものための郷土史として発行したものです。『むかしの堺』は大人に好評だったものの、はとぶえ会では子どもにあまり読まれていないと感じ、遊びの中で郷土学習ができるものを、との思いから『堺かるた』の発行を考えたのです。字札は広く市民から募集し、絵札は堺市内の小中学校の先生が作成、尼見清市氏と別所やそじ氏が解説を担当して、1万5千部発行されました。



堺かるた

この他、昭和54年には『むかしの堺続編』が出版され、それにあわせて『続堺かるた』が発行されました。また、郷土かるたとして『少林寺かるた』（昭和57年）、『五箇荘歴史かるた』（昭和61年）、『大和川かるた』（平成8年）、『美原かるた』（平成21年）、『金田歴史かるた』（平成25年）、『せんぼくこどもかるた』（平成30年）、『もののはじまりなんでも堺かるた』（令和3年）など、地域の歴史を楽しく学べるかるたがたくさん発行されています。



今年度の中央図書館郷土資料展(令和4年1月8日～30日)は、『堺かるた』で見る堺の歴史』をテーマに開催しました。『堺かるた』『続堺かるた』『もののはじまりなんでも堺かるた』からいくつかの絵札をピックアップし、関連する中央図書館所蔵の絵図や引札、絵はがきなどを展示して、かるたの内容に関連する解説とともに堺の歴史を振り返りました。また、1月23日には「かるたで知ろう堺の歴史」と題して、元堺市博物館学芸員の井溪明氏を講師に迎え、堺の歴史や人物、寺社、産業などについてお話しいただきました。



左：講演会の様子



右・下：資料展と展示した資料



『堺かるた』の各札についてもっと詳しく知りたい方は、堺市立図書館のホームページ内「ゆづりは」のコーナーでまとめてご覧いただくことができます。もちろん、図書館所蔵の各かるたは貸出できます。かつて遊んだ方も初めての方も、かるたから堺の歴史に触れてみませんか。

(中央図書館総務課 地域資料担当)

【参考文献・出版年順】

『堺かるた』	堺かるた普及会／編	堺文化観光協会	1976年
『続堺かるた』	はとぶえ会／編集	堺かるた普及会	1979年
『堺かるたの本』	別所やそじ／編	堺かるた普及会	1979年
『堺かるた録』	別所やそじ／編	堺かるた普及会	1986年
『堺かるた』で見る堺の歴史		堺市立中央図書館	2022年



# 司書のイチ押し



## あかねさす 新古今恋物語

加藤千恵 / 著 河出書房新社 2013

今回紹介する「あかねさす - 新古今恋物語 -」は「新古今和歌集」の歌を基にした短編小説集です。歌、物語、そして歌人でもある著者が詠んだ現代語短歌が一組になった短編が、22篇収録されています。

基となった新古今和歌集は、鎌倉時代初期に成立した勅撰和歌集です。全20巻からなり、春夏秋冬や哀傷、離別、羈旅、恋、雑などの部に分かれており、2000首弱の短歌が収められています。

著者の加藤千恵氏は2001年に高校生歌人としてデビューしました。かつて出演したテレビ番組では、この本について「(中略)短歌を全然知らない人に読んでいただいて、意外と面白いなって思っていたら」と語っています。この本から、歌と物語をひとつ紹介します。

玉の緒よ絶えなばたえねながらへば

しのぶることのよはりもぞする

(巻第十一 恋歌一 一〇三四)

(訳) 私の命が終わるといふのなら、いっそ今すぐに終わってほしい。これ以上生きていたら、あなたへの恋心をひた隠しにしていることに耐えきれなくなってしまいそうだから。

式子内親王が「久しく忍ぶ恋」として詠まれた歌です。式子内親王は賀茂神社の斎院を務めました。斎院とは、賀茂神社に奉仕する未婚の皇女で、退任後もほとんどの斎院が生涯独身を通していました。当時は女性皇族の結婚が極めて難しかったという事情もあったようで、式子内親王もこの例に漏れず、独身のまま生涯を終えました。そうした自身のこともあり、我慢しきれないくらい膨れ上がった恋心を

詠んだ歌です。

この歌を基にしたエピソードの主人公まどかは、嫌いになりたいのになれない人がいることに苦しんでいます。その人は姉の彼氏です。ある日姉と彼を家まで送っていった帰り、姉から「まどか、仁志(=彼)のことが好きでしょう」と問われます。その言葉にまどかは「え、そんなわけないじゃん」と答えますが、自分の足が震えていること、鼓動がひどく速くなっていることに気づくのです。

揺らしたら溢れてしまう

もういっそわたしごと消えてしまいたい夜

最後に著者の歌でこのエピソードは終わります。歌に込められた人の想いは昔から変わらず、私たちの心に響き、共感を生むということが実感できます。

この他のエピソードの主人公は性別や年齢も多様で、「新古今恋物語」の通り恋愛に関するテーマが多いですが、同じ恋でも故郷に恋焦がれる気持ちや友達を恋しく思う気持ちも描かれています。歌を読み、小説を読んで、現代語の歌を読み、そしてもう一度歌を読んでみると、和歌が詠まれた当時の人々の心情に気づくことがあるかと思えます。

この本を読んで「短歌って面白いな」と思ったなら、図書館には短歌の資料もたくさん所蔵しています。ぜひお近くの図書館にお尋ねください。

(M・K)

### ☎ 堺市立図書館電話番号一覧 ☎

中央図書館	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター・舳松人権歴史館	
くすのき号	244-3811	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	美木多分館	296-2111	図書館カウンター堺東	232-1011
東百舌鳥分館	234-9600	北図書館	258-6850		
東図書館	235-1345	美原図書館	369-1166	音声応答サービス	280-0415
初芝分館	286-0071			ホームページ	<a href="https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/">https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/</a>

